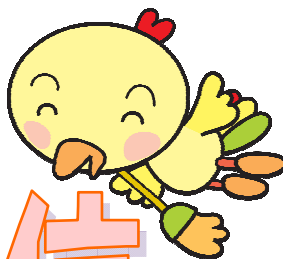


北はりまエコニュース

ハリーン通信 Vol.10



兵庫県北播磨県民局県民生活室環境課

目次



-  **ごみ2割減量北はりま大作戦**
..... P. 2
-  **森・川・海 環境学習事業**
..... P. 4
-  **環境学習情報専門員だより**
..... P. 5

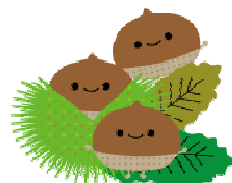
寄稿



-  **創エネと蓄エネの壮大な実験場
「加西グリーンエナジーパーク」**
三洋電機株式会社 P. 6
-  **身近な自然にふれて何かを感じてみよう！**
兵庫県立なか・やちよの森公園 P. 7

お知らせ

-  **地球温暖化防止を考えてみませんか？**
-  **『エコドライブ教室』の開催**
-  **『エコフェスティバル』の開催** P. 8



平成23年9月30日発行

兵庫県北播磨県民局県民生活室環境課

〒673-1431 兵庫県加東市社字西柿1075-2

TEL: 0795-42-5111 (代表) FAX: 0795-42-7535

H P: http://web.pref.hyogo.jp/area/n_harima/index.html

ハリーン通信では、みなさんからの投稿や寄稿、ご意見、ご感想をお待ちしています！ ぜひ、事務局までお寄せください！



ごみ2割減量北はりま大作戦

平成23年度「ごみ減量・資源化モデル事業所」

を決定しました！！

北播磨地域では、環境と調和した循環型社会の実現と美しい北播磨づくりを目指して、平成23年度末に1人1日あたりごみ排出量を、対18年度比で2割以上削減する「ごみ2割減量北はりま大作戦」に取り組んでいます。

その推進策の1つとして、平成21年度に「ごみ減量・資源化モデル事業所指定制度」を創設。先進的・先導的な取組を通じて、ごみの減量やリサイクルを進める事業所を、地域のモデルとして指定しています。

第2回目となる今回は、5月25日～7月22日まで募集を実施し、学識者及び住民団体の代表者で構成する「ごみ減量・資源化モデル事業所指定選考委員会」において審査のうえ、18事業所（総指定件数31件）を指定しました。

皆さんの事業所でも、モデル事業所になって、ごみの減量・リサイクルに取り組みましょう！



平成23年度「ごみ減量・資源化モデル事業所」の取り組み

事業所名	取組概要	所在地
グリコ兵庫アイスクリーム株式会社	ISO14001を認証取得し、紙の使用量削減やごみの分別廃棄・リサイクル、グリーン商品の推奨購入等に取り組んでいる。	三木市
大栄環境株式会社 三木事業所	紙類やプラスチック類を分別し、固形燃料の原料として利用するなど、ごみの減量に取り組んでいる。	
イオンリテール株式会社 イオン三木店	レジ袋の無料配布を中止するなど、行政・市民とともに地域のごみ減量に取り組んでいる。	
イオンリテール株式会社 イオン三木青山店	レジ袋の無料配布を中止するなど、行政・市民とともに地域のごみ減量に取り組んでいる。	
株式会社エディオン ミドリ三木店	家電リサイクル法対象外の小型家電等の回収や簡易包装の実施など、地域のごみ減量に取り組んでいる。	
生活協同組合コープこうべ コープ土づくりセンター	ISO14001を認証取得し、バイオマスの利用や食品廃棄物の堆肥化等に取り組んでいる。	小野市
日立マクセルエナジー株式会社 マイクロ電池事業部 小野事業所	食堂の生ごみを自社で堆肥化し、工場内の緑化に活用しているほか、2001年以降ゼロエミッションを継続して達成するなど、ごみの分別回収・リサイクル・減量に取り組んでいる。	
エコフィード循環事業協同組合	紙やペットボトル、ビン、缶等の分別及び全量リサイクルを実施するなど、ごみの減量に取り組んでいる。	加西市
神姫フードサービス株式会社 加西神姫レストラン	食品廃棄物を自社で堆肥化し、地元農家へ提供、その肥料により栽培された野菜を仕入れるリサイクルループを確立するなど、地域と一体でごみ減量に取り組んでいる。	
三洋電機株式会社 加西事業所	機密書類を含む古紙や梱包資材等の分別及び全量リサイクルを実施するなど、ごみの減量に取り組んでいる。	

事業所名	取 組 概 要	所在地
IDEC 株式会社 滝野事業所	ISO14001を認証取得し、紙の両面利用・リサイクルやLED照明への切り替えなどによりごみ減量に取り組んでいる。	加東市
エースコック株式会社 関西滝野工場	生ごみや空き缶、ペットボトル等の分別及び紙類の全量リサイクルを実施するなど、ごみの減量に取り組んでいる。	
株式会社フジイ	紙の両面利用及び全量リサイクルを実施するなど、ごみの減量に取り組んでいる。	
ジェイオー建設株式会社	EA21を認証登録し、ごみの分別・リサイクルを推進するとともに、ごみの計量により排出量を「見える化」するなど、発生抑制に取り組んでいる。	
積水ハウス株式会社 兵庫工場	ISO14001を認証取得し、食堂の生ごみを自社で堆肥化するなど、ごみの分別廃棄・リサイクルに取り組んでいる。	
ニッサン石炭株式会社 兵庫工場	紙の両面利用や電子化による使用量削減、段ボールの分別及び全量リサイクル、生ごみの発生抑制などに取り組んでいる。	
富士通周辺機株式会社	ISO14001を認証取得し、紙ごみ等の分別・リサイクルや食堂の生ごみを自社で堆肥化するなど、ごみの減量に取り組んでいる。	多可町
木原木材店	廃棄物の減量に配慮した製品作りや間伐材の有効利用の普及啓発等により、ごみの発生抑制等に取り組んでいる。	

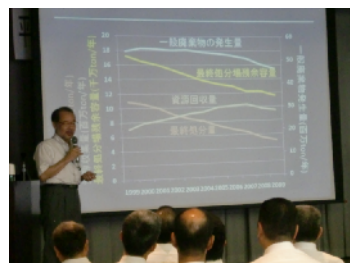
「ごみ2割減量北はりま大作戦フォーラム」を開催しました！

〔9月13日（火）13:30～16:00 三木市立教育センター 大研修室〕

当日は、モデル事業所指定書交付式に続き、神戸大学大学院の石川 ^{まさのぶ} 雅紀教授に「みんなでごみを減らそう-ごみじゃぱんと神戸市北区のごみ減量作戦」をテーマにご講演いただきました。

また、モデル事業所に指定された日立マクセルエナジー(株)や西宮市甲東地域で計量器付パッカー車両を利用して、ごみ減量に取り組んでいる甲東エココミュニティ会議による事例発表が行われました。

地域でのごみ減量やリサイクルを進める上で、大変興味深く参考になる話に参加者は熱心に耳を傾けていました。



ごみ2割減量！進捗状況

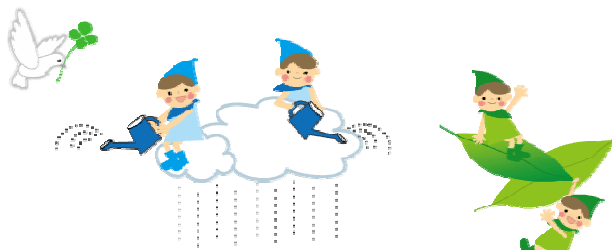
最新のデータ(平成21年度実績)では、北播磨地域の1人1日あたりごみ排出量は、920gと、18年度比で約12.5%の減量となっています。

しかし、目標の841gにはさらに**1人1日当たり79gの減量**（一般的な家庭ではごみ捨て**1回当たり821g**に相当する量）が必要です。

身近なところから3R（発生抑制・再使用・再資源化）に取り組み、いっそうのごみ減量を目指しましょう！



平成23年度



森・川・海 環境学習事業

加古川流域の3県民局（北播磨、東播磨、丹波）では、森・川・海、それぞれが持つ役割や、健全な水循環の重要性などを学ぶ体験型環境学習に取り組んでいます。北播磨県民局では、「いきものの多様性の保全」をテーマに、中流域における川やため池、里山をフィールドとして、環境NPOと連携し、親子で自然とふれあう体験型環境学習を実施しています。

川の学習を開催しました！



平成23年6月18日（土）に、弘法大師ゆかりの名水のある三木市細川町脇川及び教海寺周辺で、川の学習を実施しました。午前の部、午後の部あわせて60名が参加し、田んぼの用水路や川で水生生物を採取し、最後に顕微鏡でじっくり観察しながら、身近な自然環境の保全について学びました。参加した子ども達は、元気に生き物を観察し、大人の方々も童心に返り、オタマジャクシやコオイムシな



ど、たくさんの生き物を見つけました。三木自然愛好研究会の先生が生き物について詳しく説明してくださり、とても有意義な学習の時間となりました。

秋には、落ち葉かきや間伐、きのこ狩りを通じて、里山の重要性を学ぶ環境学習を実施する予定です。詳細が決まり次第、北播磨県民局のホームページでお知らせしますので、皆さまのご参加お待ちしております！

平成23年度 加古川流域交流フォーラムの開催

日時：平成23年10月22日（土）10：00～15：50

場所：兵庫県加古川総合庁舎

（加古川市加古川町寺家町天神木97-1）

加古川流域の住民や、環境活動団体等が交流して、活動成果の発表や情報交換を行い、豊かな森・川・海の再生に向けた取組みの一層の推進を図る、「加古川流域交流フォーラム」を開催します。今年度は「海から見た森・川のつながり」をテーマに、東播磨地域で開催します。



22年度の発表の様子



環境学習情報専門員だより



北播磨県民局県民生活室環境課 環境学習情報専門員 笹倉 綾子

ひょうごっこグリーンガーデンサポート事業

兵庫県では平成 22 年度から環境学習・教育に取り組む幼稚園・保育所に対して、各県民局に登録されている「ひょうごグリーンサポーター」等の派遣を支援する「ひょうごっこグリーンガーデンサポート事業」を実施しています。今年度、北播磨地域では、9 か所の幼稚園・保育所が登録し、環境学習・教育に取り組んでいます。



平成23年度の取り組み事例



- ☆実施園 エンゼル保育園（三木市）
- ☆参加人数 園児 31名、保育士等 6名
- ☆実施時期 4月～7月
- ☆場所 保育園内の畑
- ☆内容 大根・ニンジン・ほうれん草の種まきや、夏野菜の苗植えを体験し、生長を観察しながら、水遣りなどの世話を通じて、生命の大切さを学びました。また、生長した野菜を収穫し、食べることで、食への関心を深めました。



事前に種まきや苗植えができるように、地域の支援者の方がうねを作ってくださいました。また、種のまき方などすべて教えてくださったので、安心して取り組むことができました。収穫に当たっては、抜きやすいように土を浮かしていただき、細かい配慮にとっても助かりました。子ども達と一緒に収穫していただき、子ども達もとても喜んでいました。

先生の感想



小学校3年生の環境体験事業



小学校 3 年生の環境体験事業は、今年度で 5 年目を迎え、北播磨地域の小学校全 59 校が、それぞれの地域の特色にあった学習を実施しています。

この事業は、自然体験活動を通じて、自然への興味・関心を高めるだけでなく、命の営みやつながり、命の大切さを学び、生き物や植物を大切にすることを育むことや、地域の自然や人々と触れ合うことで、地域の温かさを知り、ふるさとを大切に



ようとする意識を高めることを目的としています。また、地域住民の方や、環境活動団体等の多くの大人がかかわって活動を展開する点が、大きな特徴であると言えます。体験活動が、学校で行うだけの単発的なものにとどまらず、学習が生活の中で生かせるよう、これからも家庭や地域との連携に向けた情報発信を工夫することが大切です。

創エネと蓄エネの壮大な実験場 「加西グリーンエナジーパーク」



三洋電機株式会社

ハイブリッドカーや電気自動車など環境対応車用電池の製造拠点である兵庫県加西市の三洋電機 加西事業所。昨年の10月からこの加西事業所で、太陽電池、リチウムイオン電池、そして、それらをコントロールするエネルギーマネジメント技術で低炭素社会実現に貢献することを目指した「加西グリーンエナジーパーク」が実証実験を開始しています。

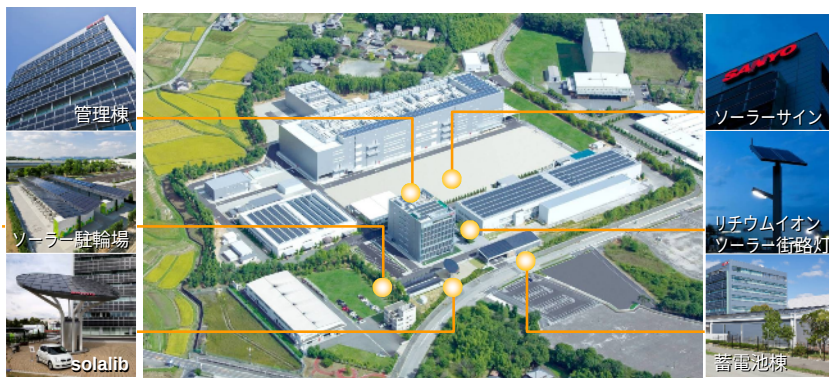


図1 加西グリーンエナジーパーク



図2 ソーラーチャージングステーション Solalib (ソラリブ) と管理棟

加西グリーンエナジーパークでまず目を引くのは、建物の屋上と壁面に設置された太陽光発電システムです。一般家庭の約330世帯分のクリーンな電力をつくりだす1MW（メガワット）のソーラーシステムは、高い変換効率と省スペース化を実現する当社独自の技術HIT太陽電池を採用。優れた温度特性で夏場の高温時でも高出力を保ちます。

そして、この加西グリーンエナジーパークが他の大規模太陽光発電システムと大きく異なるのは、1MWメガソーラーシステムとともに世界最大級の1.5MWh（メガワットアワー）のリチウムイオンの大型蓄電システムを設置していることです。太陽光発電の電力を大型蓄電システムへ蓄えるとともに、照明やパソコンの電源などに使用します。また、安価な深夜電力を大型蓄電システムに充電し、昼間に加西グリーンエナジーパーク内の各建物で利用して電力需要ピーク時の系統電力量を抑制するなど、電力を賢く使用する仕組みを構築しています。

日本では東日本大震災以降、電力不足を解消し、電力を安定供給するために、「再生可能エネルギーと蓄電システムのセットによる、エネルギーの地産地消」という考え方に注目が集まっています。住宅・店舗・ビル・工場などに太陽光発電システムを設置し、発電した電力を蓄電システムに貯蔵すれば、電力が不足する時間に放電することで電力不足を解消することができます。当社は、加西グリーンエナジーパークでの実証実験をもとに、エネルギーの地産地消社会、低炭素社会実現に貢献してまいります。



図3 蓄電池棟の大型蓄電システム



身近な自然にふれて何かを感じてみよう！

兵庫県立なか・やちよの森公園

なか・やちよの森公園は、景観豊かな自然を楽しめる里山です。里山には、人と森が関わってきた文化や歴史がいっぱいあります。自然とふれあうことで、自然に親しみながら環境や命の大切さを考えるきっかけとなるようなプログラムを、公園ボランティアと共に展開しています。

★環境体験学習の取り組み★

今、失われつつある自然とのふれあいを取り戻し、森での遊びを通して子どもたちに豊かな心を育む『環境体験学習』に取り組んでいます。

森の学校での学習は、体験する子どもたちにとって普段と違った新鮮さがあり、生き生きと活動しています。スタッフも一緒に

なりプログラムを進めることで、子どもたちは心を開き、

色々なことを話してくれます。スタッフがそれに答えてあげるとますます生き生きとしてきます。子どもたちが心を開いた時に、自然から受け取ったメッセージを伝えると、素直に受け止めてくれます。いますぐに受け止めなくても、心のどこかにしまっておいて、いつかもう一度感じ、何かのきっかけになれば、私たちは少しでも子どもたちの力になれて良かったと思います。



★地域と連携した環境保全活動★

なか・やちよの森公園の東側には翠明湖が位置し、周囲約1.1 kmには450本の桜が植えられ、多くの桜はツルや樹木が茂り、弱っていました。

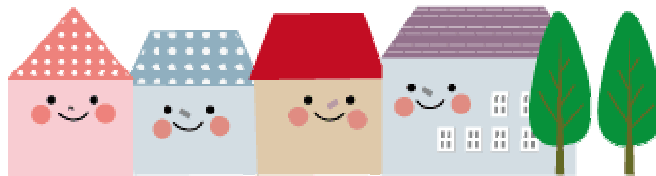
ツルに絡まった「桜を守ろう」と公園ボランティアと地域ボランティア60人の連携で始まった保全活動が、今年10年目を迎え、当初の林相整備から景観整備へと活動内容も変わりました。現在、桜をはじめ、ワラビ、タラの芽やツツジ、秋の紅葉などが、四季折々の翠明湖の景観を楽しませてくれる観光資源としてよみがえり、遠方からも観光に訪れる人たちが増えています。また、外周道路はレンタルサイクルリングロードとしても利用しています。



桜をキーワードに、地域ボランティアと連携して、保全整備を進めることで、交流を深めることがひとつの魅力となっています。また、観光資源として共有することが活動を維持できる大きな要因となっています。

これらは全て人とのかかわりなしでは実現できません。現状のスタイルを維持しながら、自然を感じてもらえる事業の展開を目指しています。

自然とのかかわりが薄れる中、里山を舞台に自然に親しみ、環境や命の大切さを考えるきっかけになることを期待し、これからも自然を楽しめるプログラムを展開していきます。



地球温暖化防止を考えてみませんか？

☆ 太陽光発電設備導入のご相談承ります。

太陽電池を利用して、太陽光を電力に変える「太陽光発電」は、「火力発電」と違って発電の際に二酸化炭素（CO₂）などの温室効果ガスをほとんど排出しないので、地球温暖化防止に効果的です。（財）ひょうご環境創造協会 太陽光発電相談指導センターでは、太陽光発電導入に関する相談窓口を設けています。専門の相談員が、太陽光発電導入をお考えの方からのご相談に応じます。また、太陽光発電に関する資料や太陽光発電モジュールなどを展示してありますので、お気軽にお立ち寄りください。

※ お問い合わせは、ひょうごエコプラザ 太陽光発電相談指導センターまで（TEL：078-371-6000）

☆ うちエコ診断を受けてみませんか？

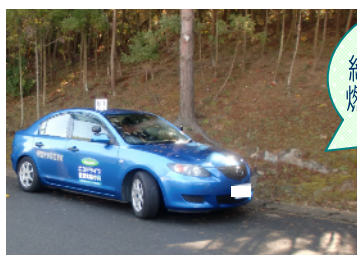
～CO₂排出量を「見える化」し、効果的な地球温暖化防止対策を提案します～

うちエコ診断とは、環境・エネルギーの専門家である「うちエコ診断員」が、ご自宅の「どこから」「どれだけ」CO₂が排出されているかを分析し、各家庭の状況に応じた「オーダーメイド型省エネ対策」を無料で提案するものです。診断を希望される方は、うちエコ診断員がご自宅を訪問する「訪問診断」、またはひょうごエコプラザなどに直接お越しいただく「窓口診断」、近くの公共施設などを利用する「集団診断」のいずれかをお選びいただけます。ぜひ、ご活用ください。

※お申し込み・お問い合わせは、ひょうごエコプラザ うちエコ診断担当まで（TEL：078-371-6000）

『エコドライブ教室』の開催

エコドライブインストラクターによる実技講習を含めたエコドライブ講習を実施します。皆さん、ぜひご参加ください！



昨年度の講習の結果、平均11.2%も燃費が改善しました！



開催日時：平成23年11月8日（火）

午前の部 9：30～12：30

午後の部 14：00～17：00

開催場所：兵庫県社総合庁舎及び周辺道路
（加東市社字西柿1075-2）

定 員：各回 15 名

※ 参加費無料！事前申し込みが必要です。

『エコフェスティバル』の開催

開催日時：平成23年11月6日（日）10：00～15：00

開催場所：ガルテン八千代グラウンド周辺（多可町）

「地球温暖化防止」「リサイクルとごみ減量」「北播磨の自然環境」をテーマにした写真やパネルの展示、くらしのエコチェック、環境クイズ、エコ工作教室、エコドライブシミュレーションゲーム等の参加・交流型イベントを開催します。

※ 使用済み携帯電話の回収も行います。

プレゼント
あり

